

## ポーラ・オルビスグループ「CSRレポート2009」をホームページで公開 CSRを3つの領域に分類して活動

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都品川区 社長:鈴木郷史)は、グループのCSR(企業の社会的責任)活動をより多くの方々にお伝えするために、ポーラ・オルビスグループ「CSRレポート2009」を7月1日より、ホームページ(<http://www.po-holdings.co.jp/>)で公開します。

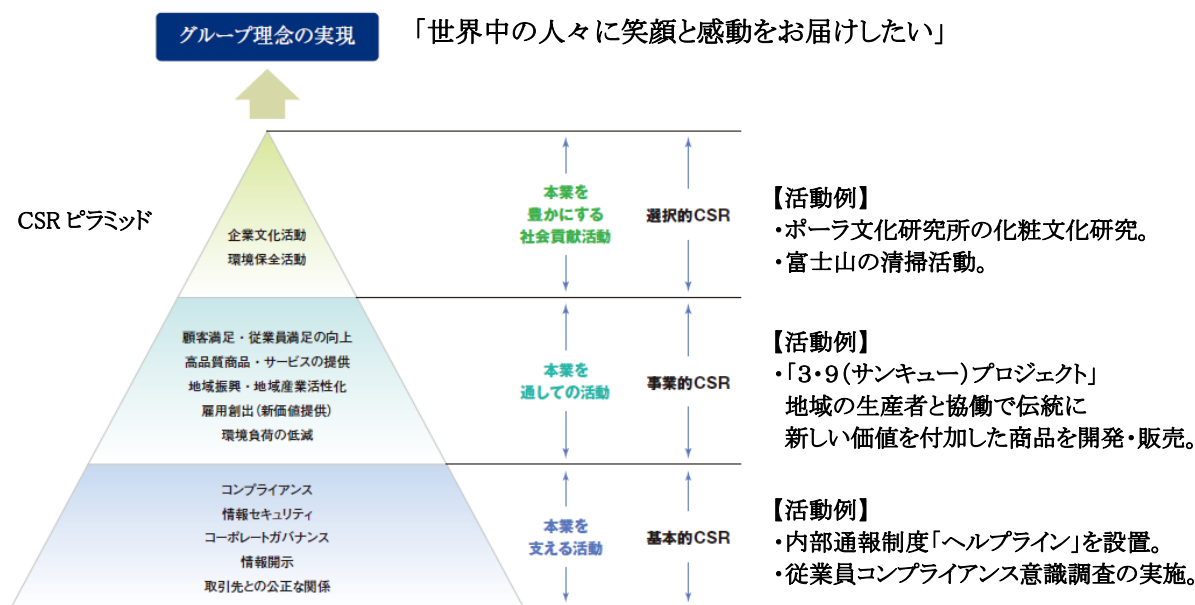
ポーラ・オルビスグループは、「世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい」という理念のもとに CSR憲章※別紙参照 を掲げて積極的に活動を推進しています。

### ポーラ・オルビスグループ「CSRレポート2009」(ホームページ公開)の特徴

#### ①CSR活動を3つの領域に分類

CSRを「基本的CSR」「事業的CSR」「選択的CSR」に分類して推進しています。

そのイメージをポーラ・オルビスグループの「CSRピラミッド」として表現すると以下の通りになります。



#### ②ポーラ・オルビスグループの新たなチャレンジを特集ページとして紹介

各社のチャレンジを通じて新しい価値を創造しつつ、グループ全体で社会と調和・共生してゆくためのCSR活動として(株)ポーラの、地域との協働を通じて生まれた「3・9(サンキュー)プロジェクト」やオルビス(株)の「富士山の森づくり」などを紹介しています。

#### ③トップコミットメント

「社会から信頼される企業であるために」と題して経営トップからのメッセージを紹介。

ポーラ・オルビスグループCSRの原点は、ポーラの創業者が手の荒れた妻のために独学でつくった「たった一人のためのクリーム」であることなどを通じてCSRの考え方を語ります。

\*参考としたガイドライン:GRI サステナビリティガイドライン(第三版)、環境省 環境報告ガイドライン 2007年版

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

TEL 03-3494-7123 / FAX 03-3494-7640

## ポーラ・オルビスグループCSR憲章：2007年6月制定

ポーラ・オルビスグループは、創業以来培ってきた「喜ばれることに喜びを」の精神で、愛され信頼されるブランドを目指してきました。この精神を育みながら、「良き企業市民として、社会に対して責任を果たし、貢献していく」、これがわたしたちが目指すCSR（Corporate Social Responsibility）活動です。

そのために、わたしたちは法令及び社会倫理を遵守するとともに、社員一人ひとりが、「喜ばれること」を世界中に広げていく行動の拠りどころとしてCSR憲章を定め、これを実践します。

### お客さまとともに

わたしたちは、サイエンスに基づいた高品質な商品と一人ひとりを見つめたサービスを通して、美しく健やかな生活を実現します。

### お取引先とともに

わたしたちは、すべてのお取引先と公平で公正な関係を維持し、良きパートナーとして共に発展します。

### 従業員とともに

わたしたちは、一人ひとりが笑顔で生き活きと働きながら、その能力を存分に発揮し成長できる職場をつくります。

### 株主とともに

わたしたちは、美と健康に関わる事業をグローバルに展開し、企業価値を継続的に高めます。

### 環境とともに

わたしたちは、環境保全に積極的に取り組み、持続可能な地球環境づくりに努めます。

### 社会とともに

わたしたちは、芸術・文化・ボランティア活動を通して、心豊かで美しい社会・地域づくりに貢献します。